

1 委託業務の実施状況及び利用者の利用状況

・利用許可

「とっとりバイオフィロンティアの設置及び管理のに関する条例」「とっとりバイオフィロンティア施設設備及び機器の開放及び管理に関する規則」に基づき、利用許可を行った。

1 か月以上の実験室、居室、動物飼育室及びオープンラボの利用許可にあたっては、条例、規則及び「とっとりバイオフィロンティア入居審査要領」に基づき、バイオフィロンティアの設置目的をより効果的に達成できると認められる者等に対し入居者選定審査会において審査した後利用許可を行った。

審査委員：鳥取県商工労働部産業振興課長
 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター食品開発研究所
 公益財団法人鳥取県産業振興機構代表理事理事長
 ” 事務局長
 ” とっとりバイオフィロンティア施設長
 ” 事業化推進チーフコーディネーター

入居者

オープンラボ		染色体工学共同研究拠点 鳥取大学染色体工学研究センター 株式会社テクノプロ テクノプロ R&D 社	平成 23 年 5 月 1 日～ 平成 28 年 4 月 1 日～
居室	301	株式会社ケー・エー・シー	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
	302	公益財団法人鳥取バイオサイエンス振興会	平成 23 年 5 月 12 日～
		株式会社 Trans Chromosomics 株式会社 PACT	平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 4 月 1 日～
	303	株式会社ジーピーシー研究所	平成 26 年 4 月 1 日～
	304	株式会社 chromocenter	平成 23 年 4 月 22 日～
実験室	311	株式会社 Trans Chromosomics	平成 27 年 4 月 1 日～
	312	株式会社 chromocenter	平成 23 年 4 月 22 日～
	313	株式会社ケー・エー・シー 鳥取ラボラトリー	平成 27 年 4 月 1 日～
	314	株式会社ジーピーシー研究所	平成 24 年 4 月 2 日～
動物飼育室	321	株式会社 Trans Chromosomics	平成 28 年 5 月 1 日～
	322	株式会社 Trans Chromosomics	平成 28 年 4 月 16 日～
	323	株式会社テクノプロ テクノプロ R&D 社	平成 30 年 1 月 5 日～平成 30 年 3 月 31 日
	324	株式会社ジーピーシー研究所	平成 25 年 6 月 3 日～

・開放機器等の利用状況

別表1のとおり

・各種委員会・部会及び連絡会の実施

別表2のとおり

・施設管理の状況

a 開館時間・休館日の状況

休館日は、土曜日及び日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日から1月3日まで）とし、開館時間は、休館日を除く日の9時から17時までとした。

b 個人情報の管理体制

公益財団法人鳥取県産業振興機構個人情報取扱規程（平成24年4月施行）により、個人情報適切に保護されるよう配慮するとともに、業務上知り得た情報の漏えい及び目的外使用が生じないよう厳正な管理を行った。

c 情報公開

施設の管理運営に係る情報公開は、公益財団法人鳥取県産業振興機構情報公開規程（平成24年4月施行）により、適切に処理した。

d 点検・保守、警備、清掃等業務について

専門又は特殊技術を必要とするもの等業務の性質上職員で処理することが困難な業務、及び外部委託により処理することが業務の質を高め、又は経費の効率化及び利用者へのサービスの向上が期待できる業務は、外部委託により行った。

以下の賠償保険、機器火災保険等に加入した。

（単位：円）

保険名	契約先	選定方法	予算額	決算額	随契理由	備考
動産総合 保険		随意契約	50,000	31,330	契約金額が 100万円 未満のため (1者見積)	施設賠償責 任保険
企業総合 保険		随意契約	444,000	444,000	契約金額が 100万円 未満のため (2者見積)	機器火災等 保険

以下の点検・保守業務については、外部委託を行い異常等は無かった。(単位：円)

業務名	委託先	選定方法	点検回数等	予算額	決算額	期間
自家用電気 工作物保守		入札	年6回 (4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 2月)	284,000	283,692	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
消防設備保守点検		随意契約	機器点検 年2回 (9月, 3月) 総合点検 年1回 (9月)	145,000	144,200	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
冷暖房機器点検		入札	年2回 (7月, 1月)	594,000	594,000	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
換気設備点検		入札	年2回 (7月, 1月)	875,000	874,800	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
実験用排水モニターシステム点検		入札	年12回 通常+1年 点検(4月) 通常+分析 点検(5月, 8月, 11月, 2月) 通常点検 (6月, 7月, 9月, 10月, 12月, 1月, 3月)	832,000	831,600	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
自家用発電設備点検		入札	年2回 (5月, 11月)	128,000	127,764	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
作業環境測定		入札	年2回 (4月, 10月)	363,000	362,880	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
昇降機設備点検		随意契約	24H監視 (現場点検 は年4回(5月, 8月, 11月, 2月))	817,000	816,480	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
鳥取大学5階空調設備保守点検		入札	年2回 (5月, 11月)	508,000	507,600	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日
加圧給水ポンプ保守点検		随意契約	年1回 (6月)	54,000	54,000	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日

前記以外のP B X交換機等、L A N設備等、電気錠、加圧給水ポンプ、シャッター設備、ガス設備、監視カメラ、警報監視装置、集中検針装置の点検・保守業務について、設備の設置業者による点検管理を行い、異常はなかった。

また、放送設備、トイレ呼出装置、植栽の点検・管理は、施設職員が随時行った。

以下の保安警備業務については、外部委託を行った。

(単位：円)

業務名	委託先	選定方法	予算額	決算額	期間	随契理由
保安警備業務(防犯・火災)		入札	396,000	395,280	平成26年4月1日 ～平成31年3月31日	当施設が鳥取大学と接続しており、連携した委託先である必要があるため (1者見積)

以下の清掃等業務については、外部委託を行った。

(単位：円)

業務名	委託先	選定方法	予算額	契約単価	決算額	期間	随契理由
一般廃棄物収集・処理業務		随意契約	96,000	可燃物 500/回(～5袋) 800/回(6袋～) 不燃物 1,300/回	119,187	平成26年4月1日～	契約金額が100万円未満のため (1者見積)
清掃業務		入札	1,491,000	月額 126,000	1,490,400	平成26年4月1日～	当施設が鳥取大学と接続しており、連携した委託先である必要があるため (1者見積)
産業廃棄物収集・処理業務		随意契約	144,000	感染性廃棄物 2,300/缶(200缶) 4,800/缶(500缶) 2,500/箱(450箱) 700/袋(450袋) 廃液(200) 1,300(廃油) 2,000(廃酸) 1,000(引水性廃油)	195,048	平成26年4月1日～	契約金額が100万円未満のため (1者見積)
白衣洗浄業務		随意契約	72,000	200/枚(ケロン製) 250/枚(綿製)	115,992	平成26年4月1日～	契約金額が100万円未満のため

以下の情報発信、ホームページ等の保守管理については、制作業者に委託を行った。(単位：円)

業務名	委託先	選定方法	予算額	決算額	期間	随契理由
HPホスティング		随契	130,000	101,520	平成26年4月1日～	HP委託先である必要があるため(1者見積)
機器予約システムサーバー管理		随契	210,000	205,200	平成26年4月1日～	機器予約システム委託先である必要があるため(1者見積)

e リース契約について

業務で使用する物品や公用車のリース契約を行った。

(単位：円)

リース物件	リース先	選定方法	予算額	決算額	リース期間	備考
PC 5台		随意契約	42,000	438,048	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	新規リース
PC 3台		随意契約	173,000	163,296	平成28年2月13日 ～平成31年3月31日	
ノートPC 1台		随意契約	-	44,712	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	監視システム用 (H28年度末故障)
ノートPC 1台		随意契約	5,000	4,665	平成29年3月29日 ～平成30年3月29日 平成30年3月29日 ～平成31年3月29日	再リース 機器予約システム用
ノートPC 1台		随意契約	11,000	10,821	平成28年11月25日 ～平成29年11月25日 平成29年11月25日 ～平成30年11月25日	再リース surface Pro
複写機		入札	330,000	329,700	平成27年2月13日 ～平成31年3月31日	
公用車		随意契約	326,000	326,592	平成29年3月10日 ～平成31年3月9日	再リース

f 実験管理について

実験を行うに当たっては実験者からの申請書を基に、動物実験委員会、遺伝子組換え実験安全委員会において審査を行って、適正な実験管理を実施した。実験の実施に当たっては利用者が各種法令に基づく適正な実験や動物管理が行えるようマニュアルを作成し、誰でも分かるよう掲示した。また動物実験実施者が施設および実験機器をより利用しやすくなるように、鳥取大学側と調整し、主にクリーンエリアとの行き来が可能となるよう管理マニュアルを改訂した。

g 薬品等の管理について

とっとりバイオフィロンティアの管理運営に関する協定書（以下「協定書」という。）に基づき定めたとっとりバイオフィロンティア化学物質管規則（平成27年4月1日施行）に基づき、実験、施設管理で必要となるキシレン、メタノールなどの薬品・有害物については、施錠してある倉庫内の薬品庫に保管し、管理台帳を基に使用に関し厳重に管理した。

平成27年度から鳥取県産業環境協会に、施設内で使用されている化学物質の管理及び取扱いについてのコンサルティングを依頼し、とっとりバイオフィロンティア化学物質管理規則の作成を進め、平成29年4月改正。平成29年度から化学物質管理委員会の開催等、本格的に運用開始した。

h 実験機器の管理について

実験機器については、日々作動確認を行い、不調等が確認された場合、設置業者またはメーカーによる対応を行った。

(対応状況)

日付	機器名	内容	対応結果	修繕費(円)
4月10日	クリーンベンチ(2台)	クリーンベンチ付属のアスピレーターの吸引力低下	アスピレーターのオーバーホール実施	125,280円
4月5日	超低温フリーザー	314実験室(-80℃)のバッテリー交換表示	314実験室(-80℃)のバッテリー交換作業	30,456円
5月11日	超遠心分離機	ブレーキ設定が一部使用できない(エラーが発生する)	部品交換を実施。全機能問題なく使用できる。	427,896円
6月9日	遺伝子抽出装置	スポット点検	部品交換・異常なし	110,160円
6月12日～16日	クリーンベンチ(3台)、安全キャビネット(8台)	HEPAフィルターの経年劣化	HEPAフィルターの交換作業を実施	3,423,600円
6月16日	安全キャビネット	法定点検	異常なし	43,200円

6月21日	共焦点顕微鏡	不具合(明視野画像がずれて表示される。Dドライブをうまく読み込まない。)	部品交換	年間保守契約内
6月22日	共焦点顕微鏡	年間保守点検(1回目)	年間保守点検(1回目)	年間保守契約内
7月6日	血液生化学分析機	スポット点検	異常なし	676,94円
7月10日 8月1日	大型遠心分離機 超遠心分離機 スイング型冷却遠心機	法定点検	異常なし	287,604円
7月27日	クリーンベンチ	クリーンベンチ付属のエアスピレーターの故障(修理不可能)	機器交換	153,360円
8月21日	超純水・純水製造システム	ROカートリッジ交換	部品交換	54,000円
8月23日	酸素濃度計	スポット点検	異常なし	124,200円
8月24日	染色体解析専用顕微鏡	年間保守点検	年間保守点検	年間保守契約内
8月24日	純水製造装置(WS200)	経年劣化による部品交換(ヒーター交換)	部品交換	113,248円
8月24日 ~9月5日	CO2インキュベーター	経年劣化による部品交換(CO2センサー交換)	部品交換・調整	1,434,888円
8月25日	超低温フリーザー	2階細胞実験室(0594-01)の部品交換(ファンモーター、バッテリー)	部品交換(ファンモーター、バッテリー)	104,544円
8月28日 ~31日	オートクレーブ	法定点検	異常なし	432,000円
8月28日 ~31日	ドラフトチャンバー	法定点検	異常なし	496,800円
8月30日	セルアナライザ	年間保守点検	年間保守点検	年間保守契約内
10月5日	小型冷却遠心機	リコール点検・部品交換	部品交換	リコールのため無償
10月27日	CO2インキュベーター	不具合による部品交換(モーター交換)	部品交換・調整	ロット不良の可能性あり。無償。
11月22日	CO2インキュベーター	不具合による部品交換(モーター交換)	部品交換・調整	前回交換後すぐの再発のため無償。
12月14日	共焦点顕微鏡	年間保守点検(2回目)	年間保守点検(2回目)	年間保守契約内

1月17日	リアルタイムPCR	点検(キャリブレーション)	異常なし	178,200円
2月16日	倒立型蛍光顕微鏡	不具合による部品交換 (モーター交換)	部品交換・調整	98,064円
2月19日	セルアナライザ	年間保守点検	年間保守点検	年間保守契約内
2月20日	液体窒素タンク	不具合による修繕	部品交換・調整	5,238円

i 施設修繕について

- ・3F エレベーター前ドア交換、1F、2F (各1ヶ所) ドアローラー交換 (10/21)
- ・研修室の照明付替 (12/19)

j 事故・事件の防止措置と緊急時の対応等について

施設管理に当たっては、火元責任者を定め、防火に努め、利用者の避難経路等を定め、火災、事故等を防止するため、開館時間帯は職員による巡回をし、開館時間外は警備委託により施設内の安全確認を行い、標準操作手順書の内容に沿った実験・動物管理を徹底し、事故防止に努めた。

とっとりバイオフィロントニア危機管理マニュアル及び動物施設危機管理マニュアルを策定し、危機管理に対する対応を明確化した。

k 施設環境・実験環境向上への取り組み

- ・協定書別記1-第2-4に基づき飲料水の自動販売機を設置。(H23年8月設置)

設置業者:

設置台数: 1台

設置場所: とっとりバイオフィロントニア1階

手数料額: 122,739円 (取扱手数料率: 販売価格の22%)

l 職員の資質向上に向けた研修等の実施について

日本実験動物技術者総会(機構が賛助会員)、支部総会、日本実験動物協会(機構が賛助会員)主催のセミナー、教育フォーラム、日本実験動物代替法学会、遺伝子組換え実験を安全に実施するための研修会、日経バイオテック(機構が会員であり定期購読中)主催のセミナー、日本バイオインダストリー協会(JBA)セミナー、iPSビジネス協議会等に積極的に参加し技術に対する最新情報の収集、参加者とのネットワーク構築に努めるとともに職員の資質向上に努めた。詳細は別表3参照のこと。

・PR活動等

- a 専門展示会出展及び学会・セミナー等に参加し、関係者に対する施設説明、パンフレットの配布などを行い、関係者への周知を図った。

- b R&Dコーディネーターを中心として、県内企業及び県外製薬企業などを訪問し、施設へ

の入居及び開放機器の利用案内を行い施設利用促進に向けての活動を行った。

- c ホームページを利用し、施設の目的・概要、から利用料金まで幅広い情報を提供した。また、『facebook』を活用した情報発信も行った。
- d 企業へのPRを意識したパンフレット、DVDの制作、イベント時に資料を入れる紙袋やクリップ、布袋、スケール等のノベルティグッズを企画、作成し、イベント時に配布し、PRに努めた。
- e バイオ系大型展示会に独自ブースを3回出展し、出展社セミナーの他、ブース内プレゼンも企画し共同出展の製品・技術PRを支援した。

展示会	開催日	場所	出展者
BioPh Japan2017	4/19-21	東京	(株)テクノプロ テクノプロ・R&D社、 (株)ペジィー・ファーマ
Bio Japan 2017	10/11-13	横浜	(株)アグセル研究所 (株)ジーピーシー研究所 おしどり調剤薬局(株)
メディカルジャパン 2018 (第4回再生医療 産業化展)	2/21-23	大阪	(株)テクノプロ テクノプロ・R&D社、(株) Trans Chromosomics (株)マリンナノファイバー

(活動実績：詳細は別表3のとおり)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議・学会等でのPR	2	0	5	1	2	5	5	3	1	2	3	0	29回
新聞報道等	3	2	2	2	4	1	2	3	1	2	0	2	24回
企業訪問	5	6	5	2	7	4	11	3	2	0	5	0	50社

※企業訪問には、商談会等での企業マッチングも含む

・利用者支援の実施

- a 鳥取大学の有する世界最先端の染色体工学技術を活用した共同研究やその成果の実用化を推進するため、当財団が総合調整機関となり実施している地域イノベーション戦略支援プログラム事業（文部科学省補助事業）により研究成果の事業化の推進を図った。
- b バイオ関連学会・セミナー等に積極的に参加し、バイオ関連情報の収集に努め、施設利用者に最新のバイオ業界の動向やバイオ関連企業のニーズなどの情報提供を行った。
- c 利用者から要望のあった実験分析機器のメーカー担当者による使用に係る説明会・研修会を行い、実際の使用時にも財団担当職員による機器使用のサポートを行うことにより、利用者のスキル向上につなげた。

(実施講座)

開催名	実施日	受講者数	備考
PCR マシン取り扱い説明会	4月12日	8名	今年度2階開放機器室に新規導入したPCRマシン(タカラバイオ TP350)の操作法を実践的に学ぶ
ソニーFCM 勉強会 ～次世代型セルソーター/スペクトル型セルアナライザーのご紹介を交えて～	5月24日	14名	細胞の特性解析に必須なフローサイトメトリー技術の基礎から代表的なアプリケーションの紹介と、染色体工学技術により作製した遺伝子導入細胞検出への応用。
小動物用麻酔器説明会	5月25日	12名	3Rに基づく動物実験に必須となる小動物用麻酔器の使用法の実際を体験的に学ぶ。
染色体解析専用顕微鏡&共焦点顕微鏡メーカー相談会	6月22日～23日	12名	2階開放実験室設置の染色体解析専用顕微鏡及び共焦点顕微鏡に関するメーカー相談会。
ホログラフィック顕微鏡 ラベルフリー3D ライブセルイメージャーの御紹介	7月7日	11名	蛍光標識を必要とせず、高分解能かつ最小限のダメージで生細胞/組織の3D撮影が可能な顕微鏡システムについて学ぶ
セルアナライザーNovoCyte 説明会	7月24日	7名	従来機種と比較して操作性向上、保守機能の簡易化、データ処理機能の充実を達成したセルアナライザー使用法の実際を体験的に学ぶ
セルアナライザ取扱説明会	8月22日	4名	2階開放実験室設置のセルアナライザに関する原理説明及び取扱説明会。
染色体解析専用顕微鏡&共焦点顕微鏡メーカー相談会(第2回)	8月24日～25日	5名	2階開放実験室設置の染色体解析専用顕微鏡及び共焦点顕微鏡に関するメーカー相談会。
生物工学講座	9月24日～25日	15名	初学者を対象としバイオ関連技術の基礎からバイオ製品生産プロセスに至る幅広い知識の習得を目指す
シングルセル回収テクニカルセミナー	10月10日～12日	7名	数十万の細胞集団から一個の細胞を生きたまま回収できる装置について実践的に解説し、実機を用いたデータ取得により装置性能を評価
実験動物2級技術者資格試験対策講座	11月1日	7名	実験動物を日常的に扱う飼育管理者に必須の資格である試験(主催:日本実験動物技術者協会)受験者を対象に、本試験での実技試験に即した内容を習得してもらう
染色体工学セミナー	11月20日～21日	11名	染色体工学技術の中核である染色体について理解を深め、染色体標本の作製とデータ取得/解析法を実習を通して習得する
染色体解析専用顕微鏡&共焦点顕微鏡メーカー相談会(第3回)	12月14日～15日	8名	2階開放実験室設置の染色体解析専用顕微鏡及び共焦点顕微鏡に関するメーカー相談会。

共焦点顕微鏡(解析専用)取扱説明会	3月16日	9名	新規設置した「共焦点顕微鏡(解析専用)」について、新規導入時のメーカー担当者による使用方法の説明
-------------------	-------	----	--

d バイオ知識や動物実験技術の向上、知的財産に関する講座を開講し、施設利用企業等が必要とする人材の育成を支援した。

今年度は、前述の技術習得セミナーと併せて人材育成セミナーを25回開催し、参加者は延べ492名が参加した。

(実施講座)

開催名	実施日	受講者数	備考
バイオベンチャースタートアップの成功を左右する資本政策	4月25日	18名	企業価値向上を目指すバイオベンチャー(株式未公開企業)の経営者に向け、資本政策の重要性と失敗の原因を解説し、ファイナンス上重要な有償新株予約権、種類株式の実際をご理解いただく。
細胞群の調整技術の平準化と細胞挙動に基づく創薬スクリーニングの構築	7月21日	19名	ヒト細胞を再生医療および創薬探索ツールとして活用する際の製造工程最適化と、異種細胞の混合培養により構築した細胞シート積層システムを利用した薬剤スクリーニングの実証について解説
前臨床における薬剤性肝障害の予測に有用な in vitro 試験系	8月28日	29名	医薬品開発後期の臨床試験において、安全性が原因で開発中止になることを防ぐために、開発前期の前臨床試験において毒性評価が可能な培養細胞試験系を構築した成果の解説
岐阜大学の新たな相互連携の取り組み「生命の鎖統合研究センター」のご紹介	9月5日	18名	研究成果にもとづく創薬の具現化を企図して創設された研究拠点における、機能的な組織構築のための先進的な取り組みについて学ぶ
巨大ゲノムのデザインと合成	10月27日	30名	長大なゲノムDNAを安定に操作できる枯草菌ゲノムベクター応用の汎用性を解説し、合成生物学のアプローチについて紹介する
生命の非線形現象の研究とその合成生物学的応用	12月11日	28名	生物の持つ概日周期と細胞周期の制御に対して合成生物学のアプローチを適用することで、バイオ医薬品の効率的な生産法を探る

がんに対する免疫応答と免疫療法 – 基礎、臨床と最近のトピッカー	12月18日	30名	がんに対する免疫応答の基礎から臨床を概説し、がん免疫療法に関する最近のトピックを紹介し、抗体医薬の新規標的の探索戦略について討議
次世代ゼブラフィッシュ創薬と個別化医療	2月26日	20名	大規模な創薬スクリーニングプラットフォームとしてのゼブラフィッシュの有効性を解説し、治療薬選択や投与量決定を支援する個別化医療への展開について紹介する
スピンドル微小管による動原体捕捉の分子機構	3月8日	24名	がんや先天性疾患を引き起こす原因のひとつである染色体分配のエラーについて、通説であった中心体からの微小管形成に加え、染色体上動原体からの微小管形成が担う役割の重要性について解説する
細胞認識性バイオマテリアルは医療を革新する！ カドヘリンマトリックス工学および糖鎖工学による細胞認識性バイオマテリアル設計	3月14日	16名	細胞培養基材であるポリスチレンに糖鎖高分子や細胞表面タンパク質分子をコーティングすることで高い生体適合性を付与し、異なる特徴を持つ組織(幹)細胞を選択的に認識して固定できるナノバイオマテリアルの開発について詳説し、再生医療への適用に対する有効性について紹介する。
地域イノベーション戦略支援プログラム「成果報告会」	3月28日	130名	今年度の終了の地域イノベの成果報告会を米子コンベンションセンターで開催。米子の産業界や日本海新聞の協力の下、広くPR活動を行い、鳥取県外からも参加者が集まり、鳥取のバイオ産業を広く認知して頂く、非常に良い機会となった

・利用者からの要望・意見

利用者の要望、意見については7月に行った利用者への説明会兼意見交換会にて把握し、また、日々、利用者とのコミュニケーションを図り、要望への対応、課題の解消に努めた。

(主な意見)

要望者	内容	対応
施設入居者	研修室のお昼開放時間を前後30分～1時間延長してもらえないか。実験の都合上、12時～13時の間に確実に休憩を取れる場合が少ない。もう少し開放時間を広げてもらえると利用しやすくなる。	研修室の予約が無い場合、11:30～13:30まで開放することとした。
”	共通のゴミ箱設置について 研修室か自販機の横等にゴミ箱を設置してもらえないか。 来客時にゴミが出る場合にゴミ袋を直接持つてくるというのはあまり見た目のいいものではない。 また、お昼の開放時にも研修室をより利用しやすくなると思う。	共用のゴミ箱は3階の給湯室に可燃用のゴミ箱を2個設置しており、それ以上増やすことはしない。 研修室にお弁当のゴミ等捨てられると臭いのもととなるため、各自で処分していただく。
”	ゴミの回収については、掃除業者の方にしてもらえないのか。できないようであれば、ケージ交換のように専用のバイトを雇うなども検討できないのだろうか。	掃除業者の方にしてもらうことについては、契約外となるので、できない。

2 管理施設の利用に係る料金の収入および減免の状況

別表4のとおり

3 委託業務に係る経費の収支状況

収入

(単位：円)

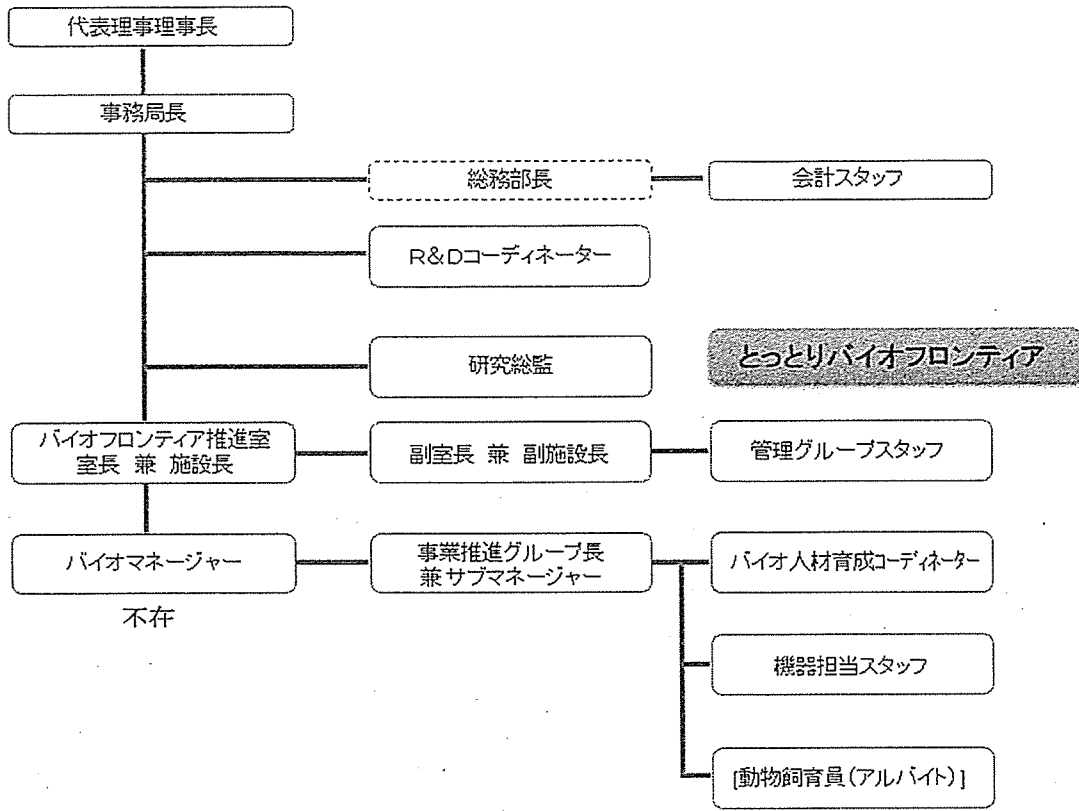
区分	予算額	決算額	差額	備考
利用料料金収入	8,220,000	8,263,328	-43,328	
機器利用料収入	3,360,000	3,840,592	-480,592	
ケージ管理料収入	8,988,000	8,343,760	644,240	
その他収入	3,541,000	4,572,674	-1,031,674	施設利用料等
委託料収入	108,614,000	94,865,030	13,748,970	
合計	132,723,000	119,885,384	12,837,616	

支出

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額	備考
人件費（常勤職員）	4,936,000	23,334,457	7,421,543	※1
人件費（非常勤職員）	25,820,000			
管理運営費				
委託費	40,912,000	27,269,229	13,642,771	
旅費交通費	6,213,000	3,269,235	2,943,765	
通信運搬費	819,000	756,638	62,362	
消耗品費	6,471,000	9,344,130	-2,873,130	
食糧費	800,000	280,267	519,733	
修繕費	2,700,000	7,345,349	-4,645,349	
印刷製本費	750,000	162,000	588,000	
広告宣伝費	1,000,000	648,000	352,000	
燃料費	78,000	27,464	50,536	
光熱水費	7,360,000	8,785,827	-1,425,827	
賃借料	6,521,000	6,373,832	147,168	
保険料	500,000	475,330	24,670	
諸謝金	2,704,000	3,244,100	-540,100	
租税公課	2,507,000	2,299,254	207,746	
負担金	22,106,000	26,141,576	-4,035,576	
支払手数料	30,000	4,696	25,304	
研修費	496,000	124,000	372,000	
合計	132,723,000	119,885,384	12,837,616	

4 管理体制の状況



(別表1) 開放機器等の利用状況

○施設利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実験室	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
居室	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
動物飼育室	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	39
オープンラボ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
研修室(推進室利用分も含む)	34	26	21	22	18	20	22	20	23	21	24	27	278

○開放機器利用状況（件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放機器	2,598	2,734	2,885	2,851	2,802	2,744	2,861	2,981	3,036	2,850	2,672	3,170	34,184
傾斜型バイオクリーンベンチ	36	32	85	72	53	102	86	142	101	80	79	84	955
倒立型生物顕微鏡	6	11	16	10	1	2	0	0	2	0	0	4	52
スイング型冷却遠心機	7	6	5	7	3	4	1	6	1	1	2	8	51
安全キャビネット	83	115	142	121	123	65	86	114	101	50	45	54	1,099
オートクレーブ	31	35	43	27	32	28	24	39	32	21	21	22	355
倒立型蛍光顕微鏡	20	39	28	18	9	21	27	36	34	12	10	14	268
実体顕微鏡	1	0	0	0	2	4	0	3	0	0	0	5	15
オールインワン顕微鏡	4	10	9	8	3	4	14	4	12	6	16	10	100
インキュベータ顕微鏡	8	24	5	0	0	5	0	5	0	0	6	20	73
セルアナライザ	11	18	19	14	15	28	28	15	21	15	21	23	228
タイムラプス蛍光細胞解析機	19	19	12	9	6	19	1	6	15	0	0	5	111
大型遠心分離機	12	1	12	5	12	10	7	8	6	3	2	12	90
超速心分離機	2	2	0	2	8	8	5	0	7	0	3	2	39
小型冷却遠心機	31	20	15	26	14	10	17	10	14	4	10	17	168
化学発光・蛍光検出機	0	4	9	12	13	10	11	12	4	5	13	13	106
ゲル撮影装置	27	15	31	27	10	8	6	12	16	7	7	22	188
微量サンプル計測設備	16	9	19	19	12	8	4	4	16	4	5	9	125
分光光度計	0	0	0	0	0	0	4	5	0	1	0	0	10
冷却大型振とう培養器	12	8	12	3	8	7	0	17	17	18	5	6	113
冷却小型振とう培養器	38	12	19	24	11	13	31	56	24	25	9	17	279
大腸菌培養用インキュベーター	13	9	12	8	4	5	2	0	1	1	2	0	57
多核体サンプル粉碎器	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
超音波サンプル粉碎器	0	0	4	0	5	6	4	3	2	5	7	1	37
プレートリーダー	6	4	3	4	4	10	2	0	2	2	6	1	44
リアルタイムPCR	25	10	11	22	24	29	8	13	18	22	9	4	195
PCRマシン	23	26	29	15	1	6	3	1	21	3	6	3	137
遺伝子抽出装置	2	5	0	1	4	23	23	15	20	10	12	11	126
遺伝子導入装置	0	1	0	0	0	1	9	4	2	0	0	1	18
共焦点顕微鏡	41	40	52	69	49	68	62	90	72	57	76	52	728
染色体解析専用顕微鏡	68	96	91	64	46	65	71	74	72	87	93	114	941
ドラフトチャンバー	0	2	5	16	15	12	8	19	11	12	12	21	133
動物組織固定装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型動物麻酔器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	6
密閉式自動固定包埋装置	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	3	0	9
パラフィン包埋ブロック作製装置	0	0	0	3	0	0	0	1	2	0	2	0	8
マイクローム	7	17	12	13	8	4	7	4	14	10	7	0	103
パラフィン溶融器	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
パラフィン伸展器	7	17	10	13	8	4	7	4	14	11	11	0	106
感染防止対策用クリオスタット	5	0	0	2	5	5	1	6	4	3	5	1	37
マイクロダイヤモンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液生化学分析機	0	0	4	5	2	2	0	4	4	1	1	1	24
バイオサンプル粉碎装置	3	1	0	1	0	0	1	2	1	2	2	0	13
生物顕微鏡(ティーテックヘッド付き)	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
全食食料能率測定マイクローム(顕微鏡付)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	8
実験用器具自動洗浄機	1	5	9	5	2	8	4	5	5	6	5	5	60
乾熱滅菌乾燥機	12	4	4	6	12	16	12	14	21	25	30	25	181
高感度冷却CCDカメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2インキュベーター	120	124	120	124	124	120	109	113	124	124	112	124	1,438
細胞保存用液体窒素タンク	240	248	240	248	248	240	248	240	248	248	224	248	2,920
薬用冷蔵ショーケース	480	496	567	567	558	540	558	540	558	565	504	780	6,713
超低温フリーザー	360	372	360	341	401	330	434	420	434	434	392	452	4,730
薬用保冷庫	360	403	408	443	463	420	460	450	485	496	448	496	5,332
薬品冷蔵庫	420	434	420	434	434	420	434	420	434	434	392	434	5,110
プログラムフリーザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スーパーエレクトロポレーター	0	1	0	0	0	1	4	10	4	2	3	1	26
CO2インキュベーター(1002-00)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
PCRマシン(TaKaRa TP350)	5	5	9	5	10	10	2	2	5	5	16	2	76
CO2インキュベーター(一層利用専用)													3
染色体解析専用顕微鏡(解析専用)													5
共焦点顕微鏡(解析専用)													1
ビニールアイルーター 大型無菌飼育装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビニールアイルーター 小型無菌飼育装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロインジェクションシステム	2	0	0	0	4	4	2	0	0	0	0	0	12
In vivo 発行イメージングシステム	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	5
蛍光実体顕微鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型CO2インキュベーター	4	0	0	0	5	9	3	0	0	0	0	4	25
マイクロインジェクション計測装置(薬品顕微鏡を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※推進室の利用分（無料分）の回数を含む集計。

○開放機器利用状況（時間）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放機器(利用時間)<有料のみ>	3,380	3,741	3,302	2,986	2,904	3,437	2,978	3,340	3,576	2,886	3,064	4,002	39,596
傾斜型バイオクリーンベンチ	259	246	203	117	133	219	228	275	170	140	144	275	2,409
自立型顕微鏡	6	12	20	10	1	2	0	0	3	0	0	9	63
スイング型冷却遠心機	8	11	11	14	6	8	1	6	1	1	3	24	94
安全キャビネット	137	166	206	179	176	101	109	178	183	94	70	86	1,678
オートクレーブ	40	71	74	36	66	41	25	107	32	24	27	91	634
自立型蛍光顕微鏡	21	48	30	19	9	23	32	39	38	13	9	25	306
実体顕微鏡	2	0	0	0	4	12	0	10	0	0	0	10	38
オールインワン顕微鏡	4	17	11	8	3	9	30	4	53	7	20	14	180
インキュベータ顕微鏡	168	519	101	0	0	96	0	37	0	0	120	412	1,453
セルアナライザ	14	16	25	17	13	28	31	11	28	25	31	30	269
タイムラプス発光細胞解析機	388	382	274	166	137	399	24	138	309	0	0	115	2,332
大型遠心分離機	41	3	36	11	25	18	28	14	11	5	3	51	246
超遠心分離機	5	2	0	4	12	16	10	0	29	0	15	12	105
小型冷却遠心機	63	36	17	44	23	12	33	20	16	11	12	27	314
化学発光・蛍光検出機	0	4	9	12	14	10	11	12	4	5	13	13	107
ゲル電気泳動装置	26	14	26	25	10	8	6	10	15	7	7	22	179
微量サンプル計測設備	15	10	19	18	11	8	4	4	15	4	5	8	121
分光光度計	0	0	0	0	0	0	6	5	0	0	1	0	12
冷却大型振とう培養器	12	8	12	3	8	7	0	17	17	18	5	6	113
冷却小型振とう培養器	38	12	19	24	11	13	31	56	24	25	9	17	279
大規模培養用インキュベーター	13	9	12	8	4	5	2	0	1	1	2	0	57
多検体サンプル粉砕器	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
超音波サンプル粉砕器	0	0	5	0	5	6	5	4	2	5	6	1	39
プレートリーダー	4	4	2	2	5	5	2	0	0	2	5	1	32
リアルタイムPCR	56	20	25	39	51	81	19	33	38	52	24	10	448
PCRマシン	115	81	87	51	3	20	6	3	87	7	31	21	512
遺伝子抽出装置	7	24	0	3	9	105	104	56	76	33	66	33	516
遺伝子導入装置	0	2	0	0	0	1	53	27	14	0	0	3	100
共焦点顕微鏡	82	80	117	148	109	145	124	212	213	159	150	123	1,702
染色体解析専用顕微鏡	194	281	241	213	121	198	201	219	203	286	361	391	2,909
ドラフトチャンバー	0	2	13	48	38	28	10	42	13	24	22	44	284
動物組織固定装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型動物麻酔器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	15
密閉式自動固定包埋装置	0	0	0	40	0	0	0	0	18	0	35	0	93
パラフィン包埋ブロック作製装置	0	0	0	5	0	0	0	4	5	0	4	0	18
マイクローム	23	42	32	24	19	7	16	9	36	30	22	0	260
パラフィン溶解器	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
パラフィン抽戻器	23	42	29	24	19	7	16	9	36	32	54	0	291
感染防止対策用クリオスタット	11	0	0	5	15	13	4	17	77	8	8	2	160
マイクロダイセクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液生化学分析機	0	0	4	5	2	2	0	4	4	1	1	1	24
バイオサンプル粉砕装置	3	1	0	1	0	0	1	2	1	2	2	0	13
生物顕微鏡(ティーチングヘッド付き)	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
全自動万能型回転マイクローム(凍結包埋機本付品)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	34	0	43
実験用器具自動洗浄機	3	8	12	5	3	15	10	9	12	33	13	7	130
乾燥滅菌乾燥機	10	1	1	6	10	14	12	13	19	22	25	24	160
高感度冷却CCDカメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2インキュベーター	120	124	120	124	124	120	109	113	124	124	112	124	1,438
細胞保存用液体窒素タンク	240	248	240	248	248	240	248	240	248	248	224	248	2,920
薬用冷蔵ショーケース	150	155	237	226	217	210	217	210	217	224	196	439	2,698
超低温フリーザー	330	341	330	310	370	300	403	390	403	403	364	421	4,365
薬用保冷庫	330	341	348	381	401	360	398	390	423	434	392	434	4,632
薬品冷蔵庫	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3,650
プログラムフリーザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スーパーエレクトロポレーター	0	2	0	0	0	3	13	18	8	2	3	1	50
CO2インキュベーター(1002-00)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
PCRマシン(TsKaPa TP350)	16	12	17	19	19	27	4	34	7	35	56	4	250
CO2インキュベーター(一時的利用専用)													4
染色体解析専用顕微鏡(解析専用)													17
共焦点顕微鏡(解析専用)													4
ビニルマイルーナー 大型細菌培養装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビニルマイルーナー 小型細菌培養装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロインジェクション	4	0	0	0	8	8	3	0	0	0	0	0	23
In vivo発行イメージングシステム	0	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	11
蛍光実体顕微鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型CO2インキュベーター	69	0	0	0	101	157	48	0	0	0	0	49	424
マイクローム(凍結包埋機本付品)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※利用時間については利用料金に反映するため、推進室が利用した時間（無料分）は除き、有料部分のみを集計

○貸実験室等の入居状況

貸実験室等	借主	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
オープンラボ	染色体工学共同研究拠点 鳥取大学染色体工学研究センター ㈱テクノプロ テクノプロR&D社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23年5月1日～ 平成28年4月1日～
居 室	301 株式会社ケー・エー・シー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成27年4月1日～～平成30年3月31日
	財団法人鳥取バイオサイエンス振興会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23年5月12日～
	302 株式会社Trans Chromosomics	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成27年4月1日～
	株式会社PACT	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成29年4月1日～
303 株式会社ジービーシー研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成26年4月1日～	
304 株式会社chromocenter	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23年4月22日～	
実 験 室	311 株式会社Trans Chromosomics	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成27年4月1日～
	312 株式会社chromocenter	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成23年4月22日～
	313 株式会社ケー・エー・シー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成27年4月1日～
	314 株式会社ジービーシー研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成24年4月2日～
動 物 飼 育 室	321 株式会社Trans Chromosomics		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成28年5月1日～
	322 株式会社Trans Chromosomics	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成28年4月16日～
	323 株式会社テクノプロ テクノプロR&D社											○	○	平成30年1月5日～
	324 株式会社ジービーシー研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成25年6月3日～
入居者数		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	

(別表2) 各種委員会・部会及び連絡会の実施状況

月	部会・ミーティング	地域イノベ関係	その他行事等
4			
5			・遺伝子組換え実験安全委員会(遺伝子-28)(5/10)
6			
7			・入居者意見交換会(7/28)
8	・研究企画部会(8/7) ・人材育成部会(8/10)		
9	・管理・事務部会(9/11)		
10			・入居者公募説明会(10/25) ・遺伝子組換え実験安全委員会(10/10) (遺伝子-29の審査会をメールにて開催)
11			・遺伝子組換え実験安全委員会(遺伝子-20-2)(11/8) ・遺伝子組換え実験安全委員会(遺伝子-30)(11/15) ・動物実験委員会(動物-32)(11/15) ・動物実験委員会(動物-30-2)(11/15) ・動物実験委員会(動物-33)(11/17)
12		・きのこ会議(12/13)	・遺伝子組換え実験安全委員会(遺伝子-31)(12/6) ・動物実験委員会(動物-34)(12/6) ・遺伝子組換え実験安全委員会(遺伝子-32)(12/8)
1			・動物実験委員会(動物-35)(1/11) ・動物実験委員会(動物-36)(1/23) ・遺伝子組換え実験安全委員会(遺伝子-33)(1/23)
2			
3	・とっとりバイオイノベーション推進協議会 ・とっとりバイオフィロンティア事業運営委員会合同会議(3/28)	・きのこ会議(3/22) ・成果発表会(3/28)	・動物実験委員会(動物-37)(3/20) ・動物実験委員会(動物-38)(3/20)

(別表3) P R活動等の状況

○イベント・交流会・セミナー等への参加、P R活動

名称	開催期間	参加者数	概要
BioPh Japan 2017 (バイオフィーマージャパン 2017)	4月19-21日	来場者数 19,189名 ブース来 訪者 約150名	ジャパンライフサイエンスウィーク2017は、日本と世界の製薬市場を結ぶ本格的国際展示会&セミナー。医薬品の研究・開発・製造のための5つの国際展示会が同時開催され、我々のブースは、テクノプロ社、ペジィー・ファーマ社が共同出展し、各社PRを行った。
日本実験動物技術者協会 関西支部 設立50周年記念大会	4月22-23日	約120名	日本実験動物技術者協会関西支部の創立50周年を記念して開催された。『関西支部の50年、そして未来へ一繋つなぐ・紡つむぐ・創つくる』をテーマに掲げ、広範な話題を盛り込まれた。再生医療という新たな技術について学ぶ他、飼育室のLED照明という環境についての新たな課題や、実験動物技術者の働き方の諸問題について、さらに実験動物とのかかわり方や社会に認められる動物実験について議論された。
第19回神戸ポートアイランド 創薬フォーラム	6月12日	約70名	本フォーラムは、神戸ポートアイランドに進出した企業間の相互の情報交換等を行い、交流を促進することを目的に設立された産産連携の会である。今回の講演は最近注目されてきた「老化」に焦点を当てて行われた。事務局が千寿製薬(株)から大日本住友製薬(株)に引き継がれた。
創薬メーカー公募説明会	6月14日	約20名	今回は第一三共から「タネデス」、アステラス製薬から「エーキューブ」について説明があった。バイオフィロンティア入居企業からGPC研が参加。
医工農連携プロジェクト「第1 2回研究交流会」	6月20日	約20名	生体材料を指向したキチン、キトサン誘導体の開発について工学研究科齋本教授、生命機能研究支援センターの森本准教授より発表があった。
保健・医療パラダイムシフト推 進協議会 シンポジウム『予 測・予防に基づく健康長寿社 会の新パラダイム:課題と挑 戦』	6月26日	約100名	東京大学 新井賢一名誉教授が理事長を務める、保健・医療パラダイムシフト推進協議会が主催したシンポジウム。胎児・幼児期、成人期、老年期などステージ別の課題と解決策について、また各ステージごとに協議会が支援するベンチャーの経営者による事業概要と課題について講演があった。この中で、TBF入居企業のTC社(押村代表取締役)による講演もあった。基調講演として、探索病院とヘルスケア病院の場を活用して、保健・医療の新パラダイム概念を検証する必要性について議論の場も設けられた。
第28回新薬創製談話会	7月11-12日	約70名	本談話会は、天然資源の中でも特に微生物(カビ、きのこを含む)由来の新薬発見に情熱を燃やす研究者を主体として、会員各人の所属する組織の枠を超えて相互に刺激しあい、将来の新薬発見の夢を語り合い、産学官が共同して関連分野を盛り上げようという研究会で、今回、日本で最も成功していると言われるバイオベンチャーであるペプチドリーム創始者でもある菅裕明教授が基調講演を行った。
平成29年度知的財産権制度 説明会	8月9日	約80名	特許や商標などの知的財産権の基礎的な内容について、初心者を対象に、特許庁の産業財産権専門官から、知的財産権制度の概要を中心に、各種支援策や地域におけるサービス等の説明があった。

Translational Science and Medicine Training Program (TSMTP)	8月26-27日	約30名	新たな医薬品を開発する上では、基礎研究で得られた知見を元にしつつ、基礎研究とは異なるデータパッケージを取得する必要があり、様々な専門家の参加が必要となるため、本プログラムでは、医薬品開発の実際を学ぶことで Translational Thinking を涵養し、将来 Translational Research に携わる若手人材の育成を図る。
特許基礎セミナー	9月4日	6名	特許関連の基礎的な内容について学ぶ。
特許検索セミナー	9月5日	6名	特許の検索の仕方について、J-Platpat などを用いて実践的に学ぶ。
第2回関西実験動物研究会	9月9日	80名	実験動物の飼養に携わり、動物実験を実施している技術者・研究者が、実験動物の心理・行動を理解し、実験への動物福祉の理念を深める。
知財インターンシップ実務実習	9月11-13日	3名	特許等の知的財産権について理解し、これを研究開発や製品開発等へ役立てられる人材を育成するため、特許事務所において弁理士の実務を学ぶ。
IPO実務講座	9月25日	50名	適切なIPO準備を行うために、IPOを検討・準備されている方を対象として、IPOにおける様々な主要プレーヤーを招聘し、IPO実務における留意事項等を含め、全2回シリーズでIPO準備のポイントを解説するとともに、事例を交えながら体系的に学ぶ。
IPO実務講座	10月5日	50名	適切なIPO準備を行うために、IPOを検討・準備されている方を対象として、IPOにおける様々な主要プレーヤーを招聘し、IPO実務における留意事項等を含め、全2回シリーズでIPO準備のポイントを解説するとともに、事例を交えながら体系的に学ぶ。
BioJapan2017	10月11-13日	来場者数15,711名 ブース来訪者約230名	バイオビジネスにおけるアジア最大のパートナーングイベントで、展示会・セミナー・パートナーングプログラムを通じてバイオ産業のオープンイノベーションを加速させることを目的として開催。この展示会内にブースを構え当施設のPR他、共同出展者は㈱アグセル研究所、㈱ジーピーシー研究所、おしどり調剤薬局(株)の3社で各社PRを行った。
「幹細胞の培養法・培養工学のためのコンソーシアム」第二回シンポジウム	10月14日	120名	ヒトiPS/ES細胞や間葉系幹細胞の培養法・培養工学の融合のための成果発表、議論の場として、第二回シンポジウムを開催
医療分野の成果導出にむけた研修セミナー	10月3-4日 10月23-24日	20名	AMED主催の研修セミナー 医療分野の大学・研究機関において、知的財産や産学官連携を担当する方を対象に、研究成果の導出に必要な知識とスキルの習得するためのセミナー
大企業ニーズ提示型ビジネスマッチングニーズ説明会	10月27日	33名	主催：㈱KSP、鳥取県産業振興機構、しまね産業振興財団 対象：鳥取県、島根県内の中秋企業支援機関 概要：国内外の大企業8社から外部との連携で解決したい技術課題(57テーマ)を開示し、課題解決の提案が可能な技術を保有する企業・研究機関等を募集するための説明会。
岡山大学 知財フォーラム2017	11月2日	40名	興和株式会社より『一般用医薬品とセルフメディケーション』、株式会社東京証券取引所より『最近の新規上場の傾向と上場審査のポイント～大学発ベンチャー～』と題し、講演があり、大学発ベンチャーが上場を目指す際のポイントや留意点などについて話された。

鳥取大学染色体工学研究センターセミナー	11月22日	50名	演題 バイオテクノロジーの最新潮流/激変する創薬 講師 鳥取大学 客員教授 宮田満氏 概要 大学院博士課程向け講義。最新のバイオ産業(創薬)の動向、トレンドや将来方向についてのセミナー
日本薬物動態学会 第32回年会	11月29日 -12月1日	300名	Trans Chromosomics 社のブース展示に同行し、宣伝活動をサポートするとともに、とっとりバイオフロンティアの広報活動も行った。
広報活動	12月12日	40名	対象:国立米子工業高等専門学校 物質工学科4年生 約40名 講師:鳥取大学染色体工学研究センター特任教授 押村光雄先生 概要:鳥取大学の染色体工学研究の最前線及び、とっとりバイオフロンティアの紹介
彩都産学官連携フォーラム 2018	1月24日	150名	大阪府の彩都における大阪大学、大学発ベンチャー、および外部からの誘致企業との連携について、産学官の連携のあり方、新たな研究開発の動き、希少疾病に対する再生医療等製品の開発、医薬基盤・健康・栄養研究所の新たな取組み「三本の矢」など、具体的事例に基づいて講演がなされた。
ライフサイエンス関連バイオベンチャー発表会 at 日本橋	1月30日	130名	経済産業省 関東経済産業局では、ライフサイエンス関連バイオベンチャーと事業会社・アカデミア・他のベンチャー企業・投資機関等とのマッチング促進などによる事業推進支援を実施しており、この事業の一環として本発表会にて、支援ベンチャー各社によるプレゼンテーション(ピッチ)と、公的機関助成制度の紹介を行う。
大阪立地プロモーションセミナー	1月31日	50名	成長産業分野に関わる世界トップクラスの企業等が集積し、かつ世界から人材・技術・投資が集まるイノベーション都市を目指す大阪について紹介。オープンイノベーション・ベンチャー支援の専門家による基調講演や、転機をむかえているオープン・イノベーション、日本のベンチャーエコシステムの現状と今後、うめきた2期区域中核機能の実現について講演を行う。
地域イノベーションシンポジウム 2018 in 函館	2月15-16日	約100名	基調講演・パネルディスカッション・ワークショップを通して、「地域の科学技術を活用したイノベーション創出」をめぐる課題・解決策・今後の展望など、コーディネーターの役割や地域イノベ事業の全体枠組みを把握する目的で、本シンポジウムに参加した。ワークショップでは「地域イノベを担う人材の確保・育成・登用・定着」のセッションに参加し、グループ討論を通して参加者と意見交換を行った。
第9回実験動物管理等研修会	2月19-20日	約150名	実験動物の飼養保管、動物実験の運営管理等について法令等のポイントから最新の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説」を踏まえた研修を受講した。
第4回 再生医療 産業化展 (メディカルジャパン 2018)	2月21-23日	来場者数 31,245名 ブース来訪者 約 600名	再生医療分野 日本最大の専門技術展で大学や製薬・化粧品メーカーの研究者や再生医療・細胞医療実施企業の研究者、医療機関の医師などが来場。この展示会内にブースを構え当施設のPR他、共同出展者は(株)Trans Chromosomics、(株)テクノプロ テクノプロ・R&D社、(株)マリンナノファイバーの3社で各社PRを行った。また、関西広域連合のブース内にも当施設が1日出展し、PRを行った。

○意見交換等

内容	実施日	相手方
	4月25日	
	6月15日	
	6月16日	
	6月16日	
	6月16日	
	6月16日	
伊木米子市長表敬訪問(とっとりバイオフロンティア概要、これまでの経緯説明)	10月3日	米子市長、米子市経済部職員2名
県産業振興課との平成30年度当初予算協議	10月5日	鳥取県商工労働部産業振興課職員1名
鳥取大学動物実験棟5階の平成30年度返還に係る意見交換	10月5日	鳥取大学動物資源分野 1名、入居企業4箇所5名
とっとり創薬実証センター運営にかかる鳥取大学との情報すり合わせ	10月5日	鳥取大学研究協力部研究協力課2名、鳥取県商工労働部産業振興課1名
とっとり創薬実証センター運営にかかる鳥取大学と鳥取県協議意見交換	11月24日	鳥取大学染色体工学研究センター3名、鳥大研究推進部4名、鳥取県商工労働部3名
鳥取大学動物実験棟5階の平成30年度返還に係る事務処理について意見交換	11月24日	鳥取大学研究推進課係 1名
鳥取大学動物実験棟5階の平成30年度返還に係る各種協定書等見直しについて協議・意見交換	12月15日	鳥取大学研究推進課係 1名、鳥取県商工労働部産業振興課 1名
とっとり創薬実証センター運営体制及びとっとりバイオフロンティアとの連携にかかる協議・意見交換	12月15日	鳥取大学染色体工学研究センター3名、鳥取県商工労働部 1名
来年度動物飼育管理に係る負担金について協議	1月23日	鳥取大学動物資源分野 1名、機構職員3名

○新聞等報道

新聞・雑誌等	日付	概要
鳥取大学医学部 HP	4月6日	鳥取大学発「医・農(獣)・染」連携によるベンチャー企業”株式会社 PACT”を設立
日本海新聞	4月14日	鳥大発の染色体工学技術 研究20年花開く段階へ 産業化に期待高まる
日本海新聞	4月18日	バイオサイエンスや県西部の近況を報告 東京でクラブ・セブンティ例会
化学工業日報	5月9日	クロモセンター 人工染色体ベクター活用 医薬品先行、工業用途にも
SCIENCE SHIFT (沢井製薬運営 web)	5月12日	産官学一体でバイオ医薬品の研究を推進「とっとりバイオフロンティア」
日本海新聞	6月8日	イヌのがん治療薬開発 鳥大発ベンチャー ヒトへの貢献も期待
日本海新聞	6月30日	鳥取大学発！染色体医工学を主軸とした持続的産業創出 新産業で新たな雇用を 産官学連携施設拠点に 商業利用に向け研究大詰め
日本海新聞	7月20日	先進地・鶴岡市を視察 鳥大発バイオ産業前進へ
日本海新聞	7月27日	支援体制の重要性再認識 鳥取バイオ振興会など先進地の鶴岡を視察
日本海新聞	8月8日	鳥取発 バイオ技術の未来 先進地・山形県鶴岡市に学ぶ (上)鶴岡の取り組み
日本海新聞	8月9日	鳥取発 バイオ技術の未来 先進地・山形県鶴岡市に学ぶ (中)鳥取の挑戦
日本海新聞	8月10日	鳥取発 バイオ技術の未来 先進地・山形県鶴岡市に学ぶ (下)先進地を見て
日本海新聞	8月29日	2017 西部シンポジウム⑧ 新・中海圏はいま ～共に興す～ 鳥取発バイオ技術の未来
日本海新聞	9月22日	GS 細胞使い人工染色体を導入 実験用マウス作成成功
日本海新聞	10月15日	私の視点 バイオ技術で米子の発展を
日本海新聞	10月16日	体内時計評価細胞を製品化 メーカーから引き合い
山陰経済新聞上旬号	11月8日	光の強弱で効果評価 体内時計細胞で脚光
日本海新聞	11月10日	新たな実験マウス作成 個別患者の薬効確認可能
日経バイオテック ONLINE	11月28日	Wmの憂鬱、黒字転換企業も出た、米子バイオクラスターのエンジン
日本海新聞	12月10日	バイオ財団に23回目の寄付 皆生グランドホテル納入業者「銀の会」
日本海新聞	1月1日	産学連携、地域の未来開く「知」の実用化を推進 鳥取大学 製薬企業と共同研究の創薬開発拠点「とっとり創薬実証センター」
日本海新聞	1月15日	輝く産業未来像 目を向けよう！地元発バイオベンチャーの動き
日本海新聞	3月22日	鳥大発バイオ新段階へ 28日、米子で成果報告会
日本海新聞	3月29日	6社誕生 雇用50人創出 鳥大バイオ研究成果 開発は15品目

○その他広報

媒体	実施期間	費用等	概要
ホームページ	4月1日 ～3月31日	101,520円/年	機器利用、貸実験室等入居利用、セミナー開催、新規入居企業紹介、展示会出展案内、パンフレット改訂、プロモーションムービー公開等のお知らせ

○企業訪問活動

※商談会等でのマッチング企業も含む。

訪問先	日程	概要
	来訪 4月4日	
	来訪 4月5日	
	来訪 4月6日	
	往訪 4月14日	
	来訪 4月25日	
	来訪 5月1日	
	来訪 5月15日	
	往訪 5月18日	
	往訪 5月22日	
	来訪 5月23日	
	来訪 5月30日	
	来訪 6月6日	
	来訪 6月7日	
	往訪 6月9日	

	来訪	6月15日	
	来訪	6月15日	
	往訪	7月24日	
	往訪	7月25日	
	往訪	8月24日	
	往訪	8月24日	
	往訪	8月24日	
	往訪	8月25日	
	往訪	8月25日	
	来訪	8月28日	
	往訪	8月29日	
鳥取大学	往訪	9月5日	
鳥取大学	来訪	9月12日	
	往訪	9月15日	
	往訪	9月29日	
	往訪	10月4日	
	往訪	10月11日	
	往訪	10月12日	
	往訪	10月13日	
	往訪	10月13日	

(株)chromocenter	往訪	10月16日	入居企業現況ヒヤリング
(株)ジーピーシー研究所	往訪	10月16日	入居企業現況ヒヤリング
(株)ケー・エー・シー	往訪	10月16日	入居企業現況ヒヤリング
(株)Trans Chromosomics	往訪	10月27日	入居企業現況ヒヤリング
	往訪	10月27日	
	来訪	10月27日	
	来訪	11月7日	
	来訪	11月24日	
	往訪	11月30日	
	往訪	12月14日	
	往訪	12月21日	
	来訪	2月2日	
	訪問	2月6日	
	訪問	2月13日	
	来訪	2月14日	
	訪問	2月16日	

○視察対応

対応日	来訪人数	視察者名・団体名
平成 29 年 4 月 6 日	1	
平成 29 年 4 月 6 日	1	
平成 29 年 4 月 17 日	1	
平成 29 年 4 月 18 日	13	
平成 29 年 4 月 23 日	11	
平成 29 年 4 月 25 日	2	
平成 29 年 4 月 25 日	1	
平成 29 年 5 月 1 日	1	
平成 29 年 5 月 23 日	2	
平成 29 年 5 月 24 日	2	
平成 29 年 6 月 2 日	11	
平成 29 年 6 月 14 日	1	
平成 29 年 6 月 15 日	1	
平成 29 年 6 月 21 日	2	
平成 29 年 7 月 5 日	3	
平成 29 年 7 月 21 日	3	
平成 29 年 7 月 21 日	1	
平成 29 年 7 月 26 日	3	
平成 29 年 8 月 1 日	3	
平成 29 年 8 月 25 日	1	
平成 29 年 8 月 28 日	1	
平成 29 年 8 月 31 日	4	
平成 29 年 9 月 5 日	1	
平成 29 年 12 月 20 日	9	

(別表4) 管理施設の利用に係る料金の収入および減免の状況

○利用料金等の収入の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用料金収入	2,530,877	2,014,270	1,983,804	1,908,821	1,965,770	2,032,615	1,973,159	1,869,765	1,990,779	1,958,287	2,024,521	2,057,294	24,298,062
当月分	実験室	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	217,740	2,612,880
	居室	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	116,100	1,393,200
	動物飼育室	45,150	45,150	45,150	45,150	45,150	45,150	45,150	45,150	58,258	60,200	60,200	585,008
	オープンラボ	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	265,980	3,191,760
	オープンラボ内実験室	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	40,040	480,480
先月分	研修室	11,238	15,720	9,132	16,296	25,644	11,256	6,822	7,422	8,724	8,316	33,618	164,742
	開放機器	323,700	312,610	356,340	311,550	285,540	279,060	315,080	269,240	304,480	340,650	280,680	3,669,650
	光熱費(鳥大は先々月分)	371,529	149,810	250,422	256,365	313,856	314,529	271,527	240,493	282,485	280,323	314,083	3,373,462
	動物飼育ケージ管理料(3F)	59,520	49,040	84,040	65,480	68,000	27,200	22,720	21,560	7,160	8,960	12,640	56,800
動物飼育ケージ管理料(5F)	1,079,880	802,080	598,960	574,120	587,720	685,560	672,000	666,040	702,920	619,920	683,440	671,120	8,343,760
その他の収入(自販機+預金利息+カードキー再発行)	8,877	8,864	11,783	11,827	8,842	8,184	16,269	9,159	8,774	8,129	11,552	5,606	117,866
未収金	1,500	-1,500	0	0	0	0	0	0	0	80	-80	0	0
機器未収金	1,500	-1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居室等未収金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他未収金(光熱費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	-80	0	0

○利用料金の減免の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数													
第30条第1項(地方公共団体の職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第30条第2項(商工団体の講習会等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第30条第3項(離職者の創業目的)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第30条第4項(入居利用者の利用)	34	26	21	22	18	20	22	20	23	21	24	27	278
金額													
第30条第1項(地方公共団体の職員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第30条第2項(商工団体の講習会等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第30条第3項(離職者の創業目的)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第30条第4項(入居利用者の利用)	5,796	3,276	3,780	10,206	2,520	2,520	2,394	2,142	2,016	6,426	2,646	5,796	49,518